



## iPS アカデミアジャパン研究助成

### 趣意書

iPS 細胞の発見がなされてから既に 10 有余年が経過し、その間 iPS 細胞樹立方法、分化誘導方法、分離精製法などの数多くの研究成果が世界中で生まれ報告されています。また、その実用化につきましても、2014 年には iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞のヒト臨床研究が世界に先駆け我が国で初めて実施され、さらには疾患 iPS 細胞を利用して難病の病因の解明と難病治療薬候補の新たな発見がなされており、iPS 細胞分野での研究活動は驚く勢いで拡大しています。

弊社は設立 10 周年記念事業として 2018 年度より新たに「iPS アカデミアジャパン研究助成」を創設致しました。本助成は iPS 細胞分野の進歩・発展に貢献し、現在活躍中の若手研究者に研究助成金を贈呈するものであります。iPS 細胞技術は我が国で生まれた画期的な研究成果の一つであり、ヘルスケア分野での広範な実用化の可能性を秘めており、さらなる研究の進展が益々期待されています。

「iPS アカデミアジャパン研究助成」が、iPS 細胞分野での助成受領者の研究を支援し、同時に若手研究者の創造的な研究意欲の充進に繋がることを願っています。

iPS アカデミアジャパン株式会社  
代表取締役社長  
工藤 周三



# 2022 年度 iPS アカデミアジャパン研究助成

## 募集要項

(第 1 版)

ご応募・お問い合わせ先：

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学国際科学イノベーション棟東館 207

iPS アカデミアジャパン株式会社 研究助成事務局

Mail：josei@ips-ac.co.jp

TEL：075-754-0625

## 1. 趣旨

国内の大学又は公的な試験研究機関において、iPS 細胞分野で創造性の高い基礎研究や応用研究に意欲的に取り組み、顕著な業績を上げることが期待できる若手研究者の研究活動を支援することにより、優秀な研究者を育成すると共に iPS 細胞技術を更に普及させることを目的とする。

## 2. 対象研究分野

iPS 細胞分野（iPS 細胞技術及びその応用技術）に関する日本国内での基礎研究及び応用研究

## 3. 応募資格

i) 国内の大学又は公的な試験研究機関に所属し、対象研究分野の研究開発に従事している者

ii) ①1982年（昭和57年）4月2日以降に出生した者（外国籍も可）※

または、

②学位取得後5年未満かつ45歳未満（2022年4月1日現在）（外国籍も可）※

※ただし、産前・産後の休暇、育児休業を取得した者は、その累計取得期間を各応募資格年齢または「学位取得後5年」に加算した数値を応募資格とすることが出来る。

のi) およびii) の2点の資格を併せもつこと。

## 4. 助成金額及び助成件数

助成金額は1件当たり金200万円とし、助成件数は5件程度とする。

## 5. 応募方法

弊社ホームページから専用の応募書類、①申請書、②推薦書をダウンロードし必要事項を記入し、以下の通り合計4ファイルをメール添付にて提出してください。必ず件名には「助成応募」と明記してください。

応募用紙書類：

① 申請書 （様式1）ワードファイルとそのPDF

② 推薦書 （様式2）推薦者に記載頂いた書面をPDF化したもの

応募書類送付先 (Mail) : josei@ips-ac.co.jp

## 6. 応募期間

2022年9月1日（木）～10月31日（月）17時 必着

※10月31日（月）17時以降に到着した応募書類は受理いたしませんのでご注意ください。

## 7. 選考方法

弊社内で設置された選考委員会（社外委員を含む）が、上記応募書類を基に応募研究課題の独創性、研究成果の将来性のみならず、応募者のこれまでの研究実績や研究活動に対する意欲・姿勢なども考慮し、採択者を厳正に選考決定します。

また、選考の経過、内容に関するお問い合わせには応じかねますので、御遠慮願います。

## 8. 選考結果の通知

2022年12月下旬に採択者を弊社ホームページに掲載の上、採択者本人に採択通知の郵送を予定しています。

## 9. 2022年度贈呈式及び研究発表会

期日：2023年2月2日（木）

場所：京都大学周辺で検討中 ※採択者に個別に通知いたします。

（京都大学住所：京都市左京区吉田本町）

交付：受領者（採択者）が指定する口座に助成金を振り込みます。（振込手数料は当社負担）。なお、研究発表会では2021年度採択者の研究成果発表も予定しています。

## 10. 受領者の義務

- i) (研究成果の公表/刊行) 助成対象の研究成果を公表する場合は、「2022年度 iPS アカデミアジャパン研究助成（英文の場合には2022 iPS Academia Japan Grant）」の助成を受けた旨を明らかにすると共に、刊行物に掲載する場合は、その写しを弊社に提出する。
- ii) (助成金の使途) 受領者は助成金を助成対象の研究活動以外には使用してはならない。なお、助成金使用期間は採択結果通知の受領後から2023年12月末までとし、残金をご返還頂くこととします。
- iii) (研究成果及び会計報告) 受領者は助成対象の研究成果および会計報告書を2024年1月末までに弊社に提出する。
- iv) (2022年度贈呈式及び研究発表会の出席/発表) 受領者は2023年2月開催予定の2022年度贈呈式及び研究発表会に出席し、研究計画を発表する。（研究発表会では、2021年度採択者の研究成果発表も予定しています。）
- v) (2023年度贈呈式及び研究発表会の出席/発表) 受領者は2024年2月開催予定の2023年度贈呈式及び研究発表会に出席し、研究成果を発表する。（研究発表会では、2023年度採択者の研究計画発表も予定しています。）

## 11. 助成の取消・助成金の返還

次の事項が判明した際には、助成の取消及び助成金の返還を求めることがあります。

- i) 提出した応募書類に虚偽または事実と反する内容が含まれているとき。
- ii) 助成対象の研究活動が中止になったとき。
- iii) 本助成の応募要項に定めた「受領者の義務」に違反したとき。
- iv) その他、本助成の趣旨及びQ&Aの助成金使途に関する記載に照らして相応しくないと選考委員会が認めたとき。

## 12. その他

- i) 応募に際しては、弊社ホームページより2022年度 iPS アカデミアジャパン研究助成に関するQ&Aをご参照ください。



- ii) 提出された応募書類は採否にかかわらず返却しません。
- iii) 弊社ホームページに研究概要、受領者名、所属機関名称などを掲載する場合があります。
- iv) 応募により取得した個人情報は、個人情報保護法に関する法律及び関係法令に従い取り扱います。

以上